

運営方針

市民の豊かで快適な生活を確保するため、かけがえのない財産である恵まれた自然環境を保全・活用するとともに、地域経済の創造と調和のとれたまちづくりを市民、事業者、行政の主体的な参加と協働により取り組みます。その方策として、ごみの減量化・資源化と適正処理を進めるとともにバイオマス資源の活用や環境にやさしいライフスタイル等の浸透を図り、環境負荷の少ない循環型社会の構築と快適な生活環境の確保を図ります。

次に、販売農家の育成・支援や環境整備などにより、地域資源を活かした持続的な農業の促進に努めるとともに、恵まれた自然環境を活かし、河内林業地と言われるほどの優良材を生産してきた本市林業の活性化を図り、森林資源の循環利用を図ります。

加えて、「奥河内くろまるの郷」の「道の駅」登録を契機として、地産地消の更なる推進と交流人口増加に努めます。また、市内商工業者の事業拡大、市外からの企業誘致や起業する事業者の支援等を通じて、市内での雇用の場の創出や商工業の発展に努めます。

さらに、恵まれた自然環境と史跡・文化財などの歴史資源を観光資源として活用し、観光関連事業者や市民団体と連携した戦略的な観光振興を推進することで、交流人口の拡大に努めます。

【重点施策とめざす方向】

自然環境の保全・活用と資源の有効利用の推進

環境基本計画や一般廃棄物（ごみ）処理基本計画等の各種計画を推進し環境の保全や環境教育に率先して取り組むとともに、3Rの推進やバイオマス資源の活用にも努めます。

【実績】

目標どおり達成

- ・環境ボランティア活動実践者4名が当市の認証制度を活用した推薦入試で全員大学入試に合格しました。
- ・環境教育の一環として当市の豊かな自然環境を活用して府内の子供19名が参加した自然学習会を開催しました。
- ・小型家電リサイクル法に基づき携帯電話等のリサイクルを開始しました。（実績2トン）
- ・ごみのリユース事業に帽子を追加して対象品目の充実を図りました。

環境関連施設等の適正運営と環境整備事業等の推進

昨年度完成した市営斎場のサービスの向上や、年々減少するし尿等の効率的な処理方法の検討を行います。また、第二清掃工場や衛生処理場に係る環境整備事業等を推進します。

目標どおり達成

- ・市営斎場の霊安室の一般利用を開始するなど、斎場の機能を有効活用しサービスの向上を図りました。
- ・年々減少するし尿の効率的な処理方法の検討を行い衛生処理場機能の見直しの方針を確立しました。また、地元自治会との協議を進め、懸案であった集会所の整備について自治会の方針が示されました。
- ・第二清掃工場に係る環境整備事業は、市道日野加賀田線の用地購入を行い拡幅工事に着工しました。他の事業についても、完了に向けて取り組みを進めました。

道の駅「奥河内くろまろの郷」の活性化

今春、道の駅に登録された「奥河内くろまろの郷」について、地産地消の推進と交流人口の増加促進を図る施設として、さらなる活性化を図ります。また、周辺施設との連携を深め、エリアの魅力を積極的に発信します。

目標どおり達成

・ビジターセンター、地産地消レストラン等（JA直売所を含む）の売上げ・レジ通過者数及び周辺施設の来場者数共、前年度比約2割増加しており、周辺施設も含め、エリアの活性化を実現しました。
・引き続き、「道の駅」として、特に本市の観光振興にかかる魅力発信を強化します。

本市商工業、観光事業の活性化

市内での雇用の場の創出や商工業の発展に向け、企業誘致や市内企業等への様々な支援を実施します。また、観光事業では、戦略的に観光振興を推進するために「観光振興計画」を策定するとともに、本市観光の活性化に向けた仕組みづくりに取り組みます。

ほぼ目標どおり達成

・市内での雇用の場の創出や商工業の発展に向け、市内企業への販路開拓支援、基盤支援、金融支援等を実施しました。
観光事業では、「観光振興計画」を策定するとともに、観光協会の強化に向けた取り組みを進めました。

営農環境の整備促進と森林資源の循環利用の推進

強い農家の育成を図るため、営農指導の実施や施設園芸の促進、協業化や6次産業化を促進し、営農環境の整備を進めます。また、適切な森林整備を進め、「おおさか河内材」の利用促進を図ることにより、森林資源の循環利用を推進します。

目標どおり達成

・営農指導を始め各種施策を実施することにより、販売農家を育成することができました。
・また、「木のある暮らしコンテスト」における受賞作品を商品化し、「おおさか河内材」のPRから利用促進に繋げ森林資源の循環利用の推進に寄与しました。